



# 飛騨っ子

令和4年6月21日 発行 NO3  
 飛騨県事務所 振興防災課 振興防災係  
 家庭教育推進専門職：水口 悟  
 TEL：0577-33-1111（内線235）  
 E-mail：mizuguchi-satoru@pref.gifu.lg.jp



## コロナ禍だから、大切にしたいこと



### 1 飛騨市幼児学級運営会議のスタート(4/28)

今年度、飛騨市子育て応援課では、コロナ禍で2年間開催することができなかった会議を開催しました。構成メンバーは、飛騨市子育て応援課の課長さんをはじめ、各保育園の園長さん、保護者会長さん、幼児学級委員長さんの3名がそれぞれ参加しました。飛騨市では、全ての園に「幼児学級委員会」が設置されていて、実態や人数は異なっていますが、市としてめざす方向を1つにし家庭教育支援を推進しています。各園から3名が参加するこの会は、実に手厚い。保護者による家庭教育学級を無理強いをせず、楽しく進める中で、親の子育て学びや子育てネットワークづくりが進められています。この会議は、飛騨市子育て応援課がすべての園の家庭教育学級を応援する上での基盤になっています。

### <幼児学級の大切さ>

**幼児学級って何？ どうして大切な？**

「家庭教育」とは？ 全ての教育の出発点となり、子どもの健全な身体と人格の発達のために、親またはそれに準ずる大人が子どもに対して行う教育のことです。

「家庭教育学級」とは？ 子育てやしつけについて学んだり、悩みを話し合ったりする場であり、家庭教育のあり方を学び、自らを振り返る場となります。

家庭教育学級では、子育て親育ちのための保護者の学びを推進するため、各段階で子どもどのように働きかけるとよいのかなど、家庭教育に関する情報を得たり、互いの悩みに寄り添いながら親としての成長を確かめたりします。

「幼児学級」とは？ 幼児期における『家庭教育学級』を意味しています。

実際に子育てに関わりながら、悩んだり考えたりしている保護者の一人として、保護者役員の方々に計画していただき、保育園の協力を得ながら（保育園の参観日に合わせて開催していただくなど）幼児学級を行っていただいています。

※飛騨市では飛騨市教育振興基本計画の中で「親の育ちを応援し 地域のつながりをつくる家庭教育の推進」を基本施策の一つとし、家庭教育力の向上のため乳幼児学級・幼児学級・家庭教育学級（小中）を各年代で実施しています。

◇ 飛騨市の『家庭教育』に関する取り組み

0～3歳	4～6歳	7～15歳	
乳幼児期	保育園	小学校	中学校
子育て支援センター 乳幼児学級	幼児学級	家庭教育学級（小中）	
市民福祉部 子育て応援課		教育委員会事務局 生涯学習課	

保育園、保護者会、子育て応援課

幼児学級とは、幼児期における家庭教育学級を意味しています！

保護者会と保育園と子育て応援課が手を取り合って学級を進めます。

「幼児学級」では何をしたらいいの？

- ・子育てについての‘学びの場’づくり、保護者同士の‘交流の場’づくり、親子の‘ふれあいの場’づくりが目的です。
- ・活動内容は、6つの‘型’があります。

子育て応援課と生涯学習課が連携し、0歳から15歳までの家庭教育（学級）を推進します。

### <幼児学級の進め方>

### <年間計画：日時・型・テーマ・講師・内容>

令和4年度 幼児学級について

( ) 保育園 園長氏名

氏名	〒	住所	電話番号
保護者会長			
幼児学級委員長			
幼児学級委員			

予定表

日付	型	テーマ	講師	内容
R4.6.	左右取り組み型	家族で月つけよう！ 飛騨の自然		・家族で散歩をして虫や花などを見つける。 ・絵を描き、月つけたものを後日保育園へ提出する。（紹介する形） ・親子でコミュニケーションをとり、後日保育園でもコミュニケーションをとれる。
R5.2	体験活動参加型	珠飾作り体験		・親子で珠飾作りをする。 ・出来上がった珠飾を使って、親子で珠飾汁を作る。

『幼児学級』では何をしたらいいの？

幼児学級は、  
 子育てについての『学びの場』づくり  
 保護者同士の『交流の場』づくり  
 親子の『ふれあいの場』づくり

を目的としていくつかの方法により活動します。

○ 活動の内容については、6つの『型』があります。

- ◆行事参加型◆  
園の行事がある機会に合わせて開催します。参加者が集まりやすいので、多くの保護者に学びの場を提供することができます。（例）保護者参観、保護者会活動など
- ◆体験活動参加型◆  
保護者自身のリフレッシュや家族のふれあいの場をつくれます。カルチャースクールの内容は参加者が集まりやすく、家族のふれあいにもつながります。（例）ヨガ、料理、親子遊びなど。
- ◆在宅取り組み型◆  
親子でできることを決め、各家庭で取り組みます。全ての保護者に家庭教育の重要性について働きかけることができます。（例）読み聞かせ、弁当の日、卒業卒起書絵こぼし運動など
- ◆講演会型◆  
テーマに関連した講師を招き、専門的な話をしてもらいます。学びの場をつくれます。専門的な立場からの話を聞くことにより、より深く自分の思いや行動を振り返ることが出来ます。（例）スマホ講座など
- ◆子育てサロン型◆  
和気あいあいとした雰囲気の中で互いの悩みや悩みなどの子育てのヒントをつくれます。監督することによって悩みや不安の軽減、または解消ができ、自分の子育てに安心感や自信をもつことができます。（例）親子交流会など
- ◆工夫にお集まり型◆  
親子1対1で園や保育園に、保護者の交流会を行うことによって（任意参加型）子育てサロン型、楽しみと交流・学びが生まれます。このように組み合わせることによって効果が高くなります。

## 2 下呂市内中学校 「いのちのふれあい講座」 学校行事参加型 命の大切さ 家族の大切さ 自立心

下呂市では、市内全ての小学校5・6年生、中学校3年生を対象に「いのちのふれあい講座」を行っています。「自己肯定感をもち、自他の存在(命)を大切にしようとする子」をめざし、NPO法人サン・はぎわらさん、養護教諭の皆さん、助産師さん、妊婦さん、保護者の皆さん、先生方等が関わり取り組んでいます。地域学校協働活動の理想的な授業とも言えます。また、地域学校協働活動による家庭教育学級としても大いに値打ちがあります。

「赤ちゃんって可愛い～」・・・、メロメロになっている中学生の皆さん。わが子たちを見てニコニコしている保護者や地域関係者の皆さん。「いのちのふれあい講座」は、笑顔と感動の授業・家庭教育学級です。



### 【6月2日 下呂市立下呂中学校3年生】

僕が生まれる前から、親はいろいろな苦勞をして今までずっと応援してもらっている。これからの生活で、自分のがんばる姿を見てもらって感謝を伝えたい。 (生徒)



妊婦さんのお話を聞いていたら、娘がおなかの中にいた頃を思い出して、思わず涙が。出産を通して、「これでお母さんはやめられない」という覚悟ができました。 (保護者)

劇だとわかっていても、赤ちゃんが生まれた瞬間、お父さんが最初に言った言葉は、「ありがとう!」でしたね。 (助産師)

### 【6月6日 下呂市立萩原南中学校3年生】

わが子が生まれるとき、まさにこんな感じで座り込んでオロオロしていました。お母さんはお腹の中に赤ちゃんができたときに親になるのかな。僕は「おとうさん」と呼ばれたときに初めて「この子の親なんだ」と思いました。家族の支えがあってちょっとずつ親にさせてもらっています。奥さんと子どもたちに感謝! (保護者)

「母」になって14年。子どもが大好きで嫌いになったことは一度もありません。生徒の皆さんもそう、「大好き!」と思われるはずです。〇〇、元気に生まれてきて、元気に育ってくれてありがとう。私を親にしてくれてありがとう。 (保護者)



これでいい? 大丈夫? 緊張するわあ。(生徒)

一人の中学生が声をかけてくれました。「赤ちゃんって重たかったです。何か、何か・・・、命の重さ?」かけがえのない命の存在、そして親としての未来像・・・中学3年生が学んだことはたくさんあります。今後のいのちのふれあい講座がみなさんの心にどんなふうに届くのかとても楽しみです。 (地域振興課 家庭教育担当)